



中部大学春日丘高校 SGH課題研究「情報収集スキル学習」

— 問題を認識し、情報を集め、解決に向かうための道のり —

第2回 情報収集と図書館利用法

開催概要

- ◆ 日時: 2016年10月1日・15日(土) 3・4時間目
- ◆ 場所: 中部大学附属三浦記念図書館
- ◆ 指導者: クラス担任
- ◆ 対象生徒: 啓明コース・国際コース1年
- ◆ 第2回学習のねらい
 - ① 情報の性質を理解し、情報収集の方法を学ぶ
 - ② 図書館の分類を理解し、図書館の利用法を学ぶ

学習の流れと成果

1. 情報源の特性を見極めよう

- ① 『wikipedia』『論文・本』『新聞』『Yahoo ニュース』『ホームページ』『個人ブログ』6つが書かれているカードをグループで協力し、信頼度が高い順に並べた。
 - ② グループの案を全体に発表し、意見が違うグループがさらに発表した。
 - ③ カードを新鮮度が高い順に並べた。
 - ④ 信頼度と同様に全体に発表した。
- * 資料を配付し、情報にはそれぞれ特性があり、知りたいことによって使い分ける必要があることを確認
インターネットだけに頼らず、信頼度の高い論文・参考書を読む必要性も言及した。



2. 何を使って調べる？

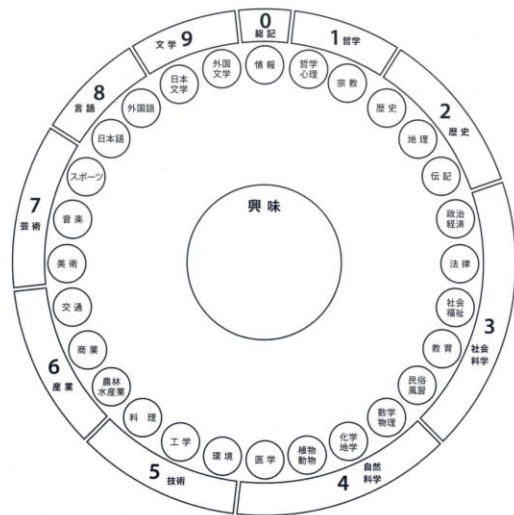
- ① ワークシートを使い、例の場合にはどんな情報媒体を使うと良いかとその理由を個人で考えた。
 - * 明日の天気予報
 - * 近所で起きた交通事故の詳細
 - * 東南アジアで行われている国際協力
- ② 教員よりどんな情報媒体で調べると良いか、情報の特性を交えて説明した。



3. 図書の分類を知ろう

- ① NDC(日本十進分類法)の説明を聞き、NDCマップの中心に自分の興味あることを書き、関連しそうな項目に矢印を引いた。

NDCマップ



4. 図書館を利用してみよう

中部大学の図書館を利用し、NDCマップで自分の興味から派生した分野の書籍を探し、3冊を選んでメモをした。そのうち1冊をグループに持ち帰った。

5. 選んだ本をプレゼンテーションしよう

グループに戻り、「自分の興味」「NDCマップではどこだったか」「この本を選んだ理由」をプレゼンテーションした。
* 書籍を活用することの大切さを確認し、研究するために今日の方法を思い出して調べていくことを言及。



★今回のプログラムのねらい★

インターネット・スマホが日常にあり、いつでも知らないことを調べることができるようになりました。しかし、インターネットの情報だけを信用して、それでわかった気になってしまうことは大きな落とし穴です。今回のプログラムでは、生徒たちの身の回りにあるインターネット、新聞、本など情報の質を理解するために行いました。自分たちが何気なく使っていた情報収集媒体が本当に正しいのか、また知りたい情報はどこにあるのかを考えることで、今後の調べ学習ではインターネット以外(本、論文、現地調査、アンケートなど)も活用していかなければいけないと理解することができました。また、中部大学の図書館で実際に本を探してみる経験を通して、自分の知識を広げるために本が必要であることも体感することができました。

同敷地内に中部大学があり、充実した情報収集環境があることを認識して、研究を進めていくことがポイントです。